

令和7年度 東江地区福祉活動計画評価表

スローガン	つ長良まいか 心と心のまち 東江
-------	------------------

重点課題	東江地区社協活動の情報が行き届いていない
------	----------------------

事業名	推進方法	評価
東江地区社協普及啓発	①東江地区社協だよりを発行 ・地区社協の活動報告や行事の案内をお知らせする情報紙を年数回発行する。 ・事業の実施以外にも、学校行事や関係団体の紹介や啓発記事を掲載する。 ・役員間でSNS（LINEなど）を使い、地区社協として発信できる情報を共有し、掲載記事を検討する。 ・地区全体に周知するため全戸配布する。 ・編集作業に負担が大きいいため、役員で協力する。また編集の担い手の増員をする。	×
	②東江地区社協の啓発用品を活用 ・身近にある住民が必ず寄る場所（ゴミステーションなど）に設置された掲示板を有効に活用し、地区社協や地域の行事をお知らせしたりして、情報を提供する。掲示板から提供された情報が、住民同士の会話のきっかけとなるようにタイムリーな情報を掲示する。 ・各自治会長にさまざまな情報の掲示や活用を再度お願いする。	○

現状及び今後の方針
①地区社協だよりは、担当が事業、行事に参加できなかったこともあり、未発行。また編集の負担も大きく、担当の増員が必要。記事、写真などのデータの提供や編集作業への協力も必要。サロン通信やチラシとあわせての発行も検討が必要。 ②自治会長がそれぞれの自治会の掲示板を活用している。地区社協の行事、サロンの案内など、今後も自治会長に看板の活用を依頼する。なお、自治会によっては修繕が必要な掲示板もあり、地区社協での費用負担を検討する。

重点課題	高齢者への見守りが不十分である
------	-----------------

事業名	推進方法	評価
高齢者の安全確保	①ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の見守り ・75歳以上、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、年末見守り訪問を実施する。 ・高齢者を対象に、高齢者を囲む会・ひとり暮らし高齢者のつどい「つ長良まいか」を開催する。 ・実施にあたって自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員などの協力をいただき開催する。 ・民生委員児童委員、福祉推進委員を中心とした平素からの見守りを継続する。	○
	②生活安全教室 ・交通安全教室を実施し、地域の事故防止のため住民に参加を呼びかける。 ・海津警察署の協力を得て、多世代が聞いてもわかりやすい交通安全を学ぶ。 ・悪質商法などを消費生活講座で学ぶ。 ・サロン東江開催時に行えるように検討する。	○

現状及び今後の方針
①自治会ごとに自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区社協役員など、関係者で見守りを行った。また、年末見守り訪問を行った。高齢者を囲む会・ひとり暮らし高齢者のつどい「つ長良まいか」は、サロンと併せて開催し、好評であった。 ②生活安全教室を単独では開催しなかったが、サロンや軽スポーツ交流会など、事業ごとに、東江駐在所職員が出席し生活や交通安全への指導を行ってもらったので「○」とした。今後も事業や活動への参加をお願いしていく。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 東江地区福祉活動計画評価表

スローガン	つ長良まいか 心と心のまち 東江
-------	------------------

重点課題	子どもの登下校が危険である
------	---------------

事業名	推進方法	評価
子どもの見守り	①東江地区子ども見守り隊 ・小学校からの要請に基づき、見守りの体制を整える。 （集合場所、送迎ルート、送迎時間の確認が必要。各自治会への周知が必要。） ・安心して児童、生徒が登下校できるよう、地域住民が協力して見守り活動に参加する。 ・東江地区社協が主体になり、地域住民に見守りを呼びかける。 ・登下校の時間帯以外でも、畑仕事や散歩しながらでも、気軽に見守り活動に参加していただけるよう工夫する。（車の中にベストを吊るすなど） ・見守り活動の際には、防犯の啓発も兼ねて見守りベストを着用し活動する。また、必ず見守りベストを着用するように周知する。 ・見守りボランティア活動への参加を更に周知する。	×

現状及び今後の方針
①小学校も統合となり、また海津小学校からの送迎があるバス停まで家族の見守りもあることから、今まで取り組んできた、通学路での積極的な見守り体制は不要となった。今後もできる範囲内での「ながら見守り」への勧奨は継続するが、事業としては休止とする。

重点課題	世代間のつながりが乏しい
------	--------------

事業名	推進方法	評価
世代間交流事業	①サロン東江の開催 ・月1回サロン東江を開催する。 ・サロンへの参加を呼びかけるとともに、積極的に参加する。 ・月ごとに、地区内の各自治会集会所で持ち回りで行うなど、開催場所を工夫し、参加者を増やす。 ・高齢者に限らず、子どもや働く世代が参加できるように、開催日時についても検討する。 ・地区社協として、地域での交流が広がるように、サロンを積極的に推進する。 ・サロン通信、案内チラシを発行する。自治会へ配布する。 ②軽スポーツ交流会を開催する。 ・10月に軽スポーツ交流会を開催する。 ・チラシを作成し、自治会を通じて周知する。 ・自治会をはじめ、諸団体で参加者を募る。とりまとめは自治会に依頼する。 ※地区社協として、自治会での近隣ネットワーク、サロン、いきいきクラブ海津などで三世代交流を推進する。情報提供や参加の勧奨など、地区社協で協力できることを実施する。	○

現状及び今後の方針
①月1回、サロン東江を開催し、交流の場を設けた。今後も自治会の協力を得ながら、周知や啓発に努めていく。高齢者に限らず、子どもや働く世代が参加できるように、開催日時についても検討する。 ②参加者も多く、好評であった。次年度以降も東江地区の定期的な行事として、継続していく。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった